

千葉県都市計画審議会附帯意見への対応

- 海老川上流地区の区域区分の変更（市街化区域への編入）に関する議案について、附帯意見を付して可決
（令和4年1月18日千葉県都市計画審議会）
- 附帯意見
「土地区画整理事業による海老川流域の治水への影響に関する検討を続け、住民に対し御理解いただけるよう、丁寧に説明を重ねること」



海老川水系洪水浸水想定区域図作成時のシミュレーション結果に対し、今回の土地区画整理事業がどのような影響を与えるのかについて検討し、住民説明会を開催（令和4年5月・8月）

検討の方法

- ▶ 土地区画整理事業実施前（洪水浸水想定区域図作成時）と土地区画整理事業実施後のシミュレーション結果を比較することで治水への影響を検討

土地区画整理事業実施前
（洪水浸水想定区域図作成時）

シミュレーション結果



比較

土地区画整理事業実施後

シミュレーション結果

※ 土地区画整理事業実施後の状況を加味

検討の解析条件

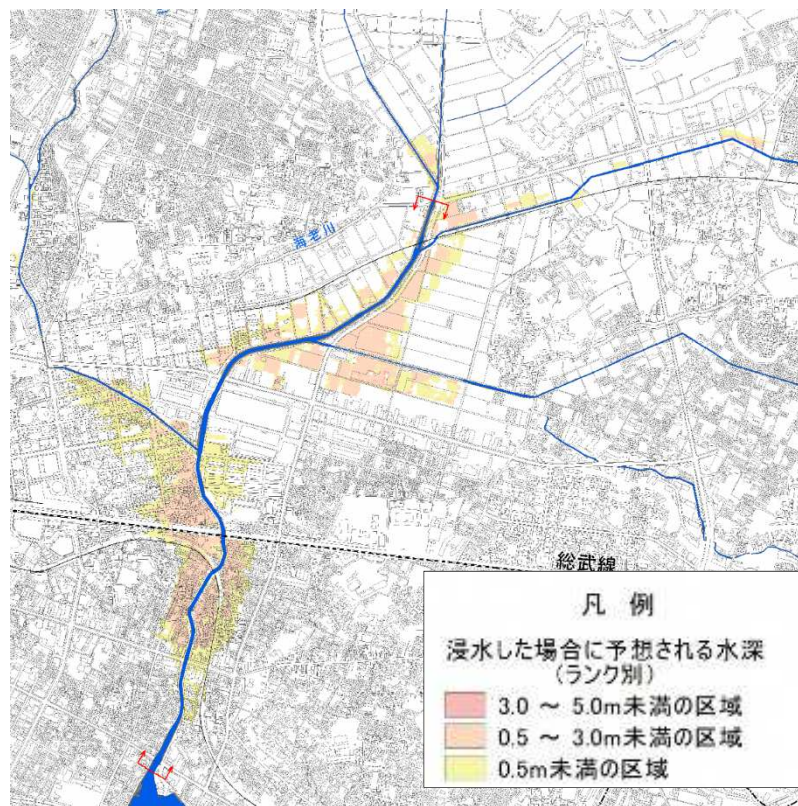
～降雨規模～

- 今回検討する降雨規模は以下3パターンでシミュレーションを実施
 - 高頻度の降雨（年超過確率1/10いわゆる10年に一度の降雨）
海老川流域の24時間総雨量163mm
海老川水系河川整備計画の目標とする降雨
 - 想定最大規模の降雨
（年超過確率1/1,000いわゆる1000年に一度の降雨量を上回る降雨）
海老川流域の9時間総雨量516mm
水防法に基づく想定し得る最大規模の降雨
 - 計画規模の降雨（年超過確率1/50いわゆる50年に一度の降雨）
海老川流域の9時間総雨量221mm
海老川水系河川整備基本方針の目標とする降雨

解析結果

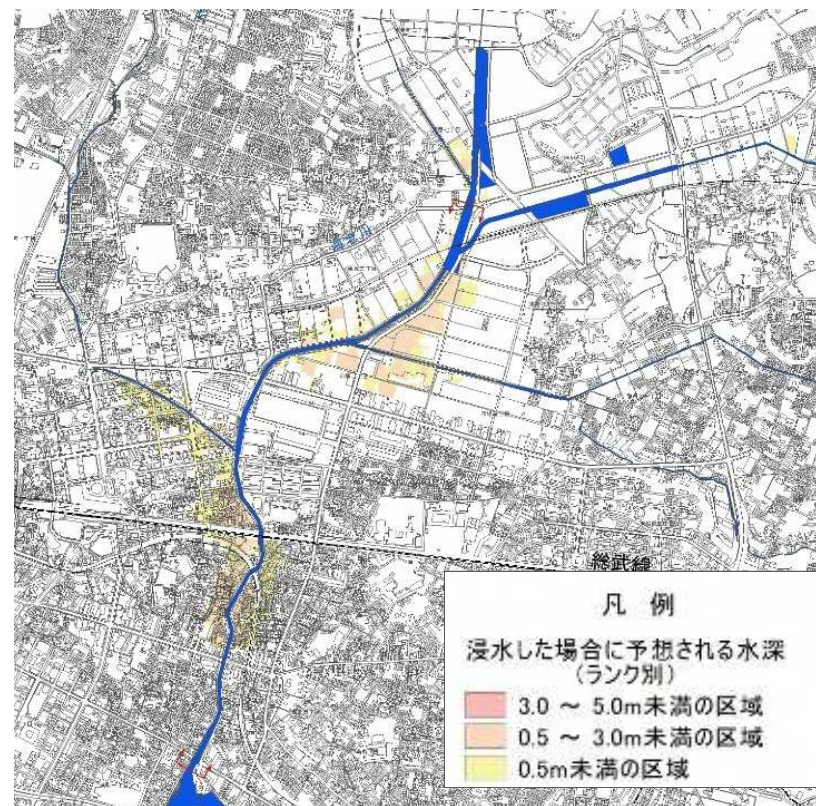
～高頻度の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



作成主体 千葉県
作成年月日 令和元年12月23日より引用

②土地区画整理事業後の浸水予想区域図

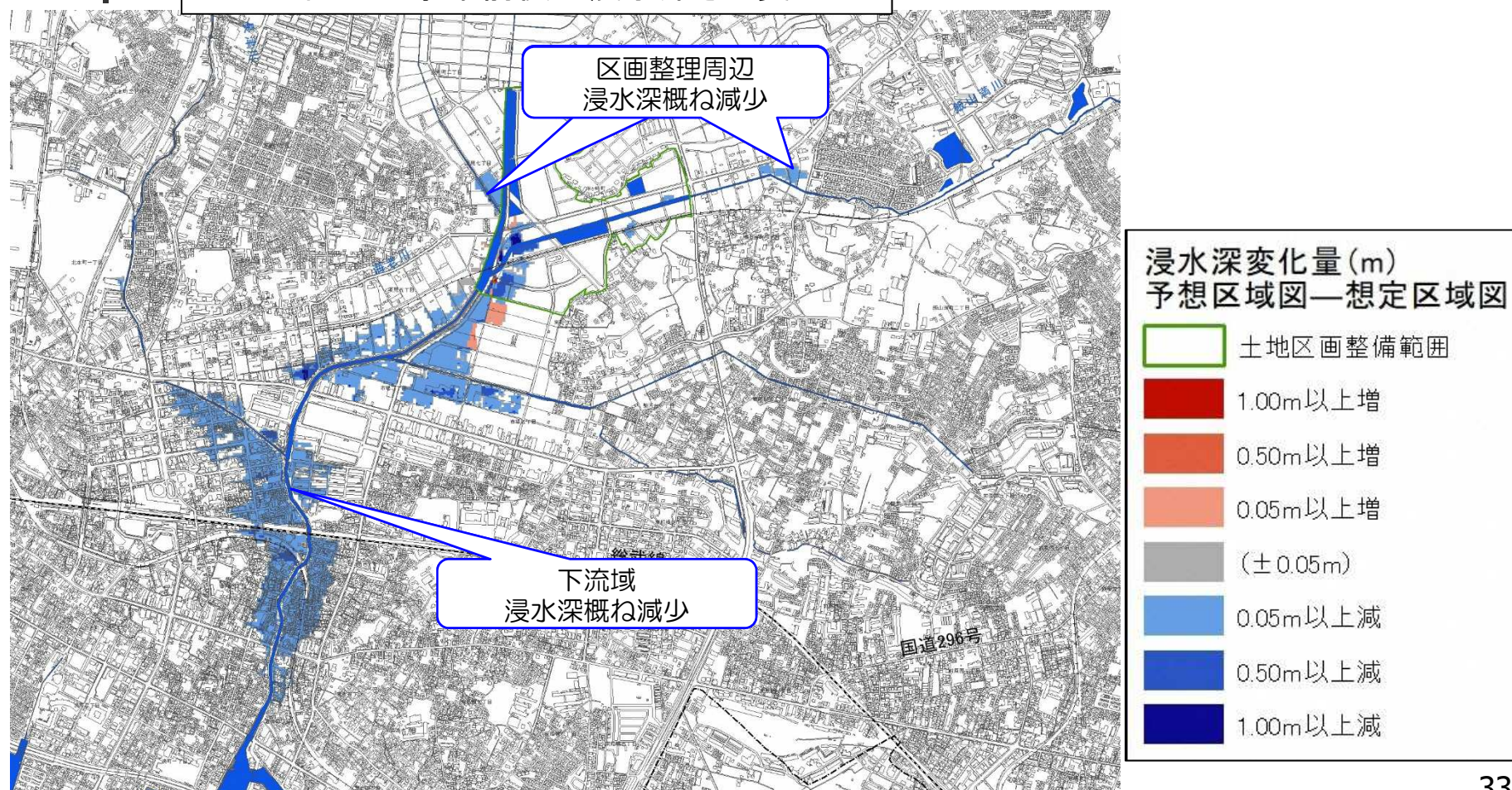


今回実施

解析結果

～高頻度の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量

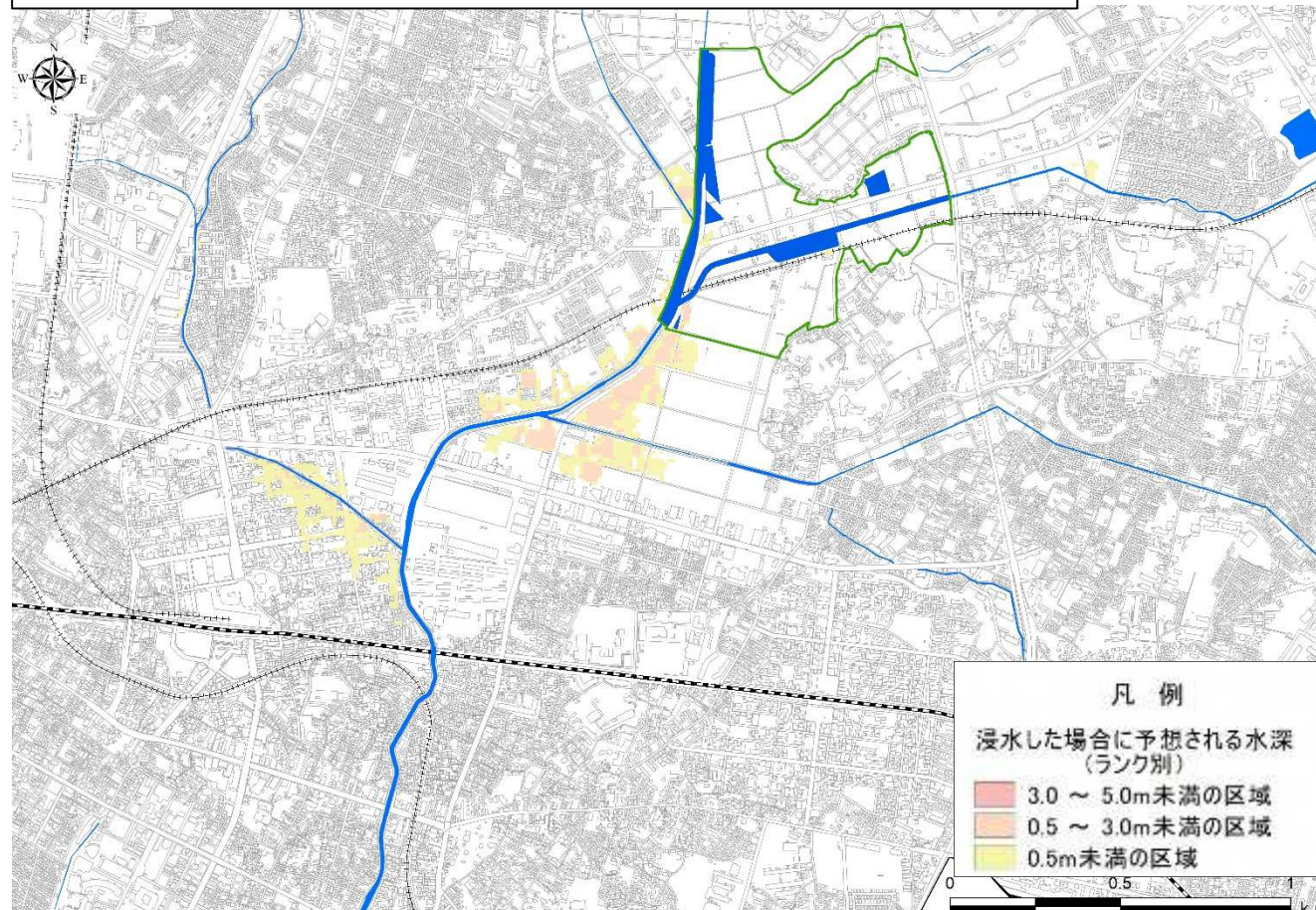


②土地区画整理事業後の浸水予想区域図—①土地区画整理事業前の浸水想定区域図

6. 解析結果

～高頻度の降雨(年超過確率1/10)(溢水のみ)～

土地区画整理事業後の浸水予想区域図 (溢水のみ)

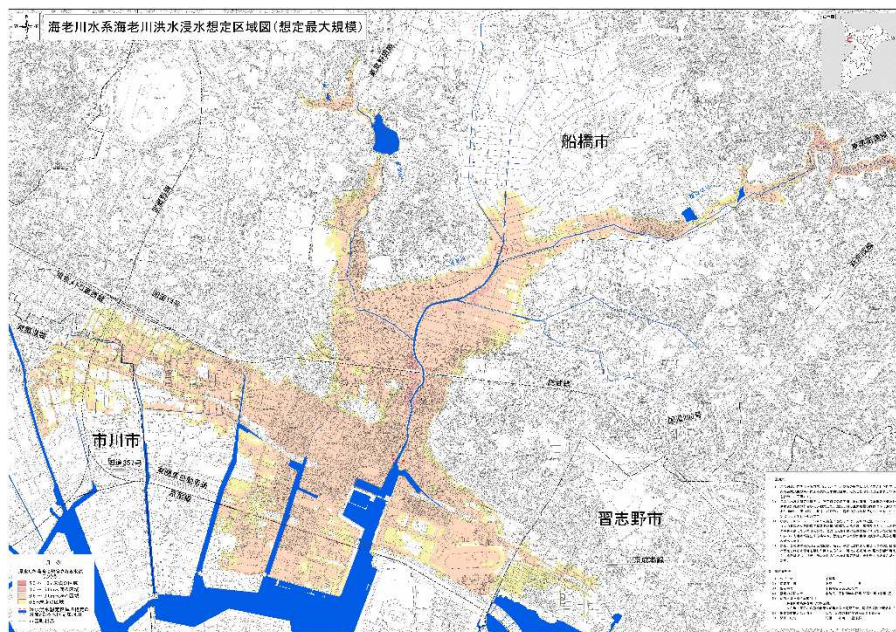


今回実施

解析結果

～想定最大規模の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図

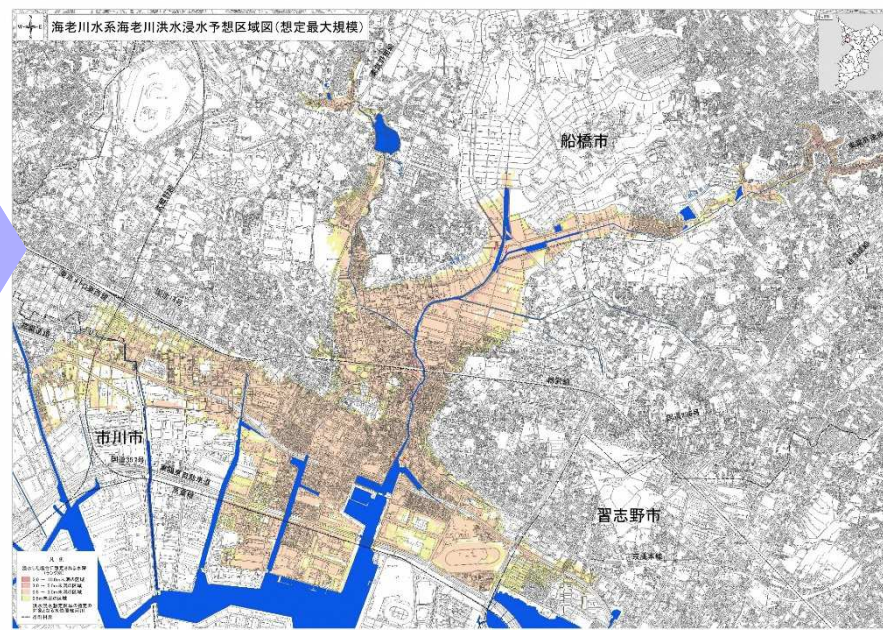


凡例
浸水した場合に予想される水深
(ランク別)

- 3.0 ~ 5.0m未満の区域
- 0.5 ~ 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

作成主体 千葉県
指定年月日 令和元年12月23日より引用

②土地区画整理事業後の浸水予想区域図



凡例
浸水した場合に予想される水深
(ランク別)

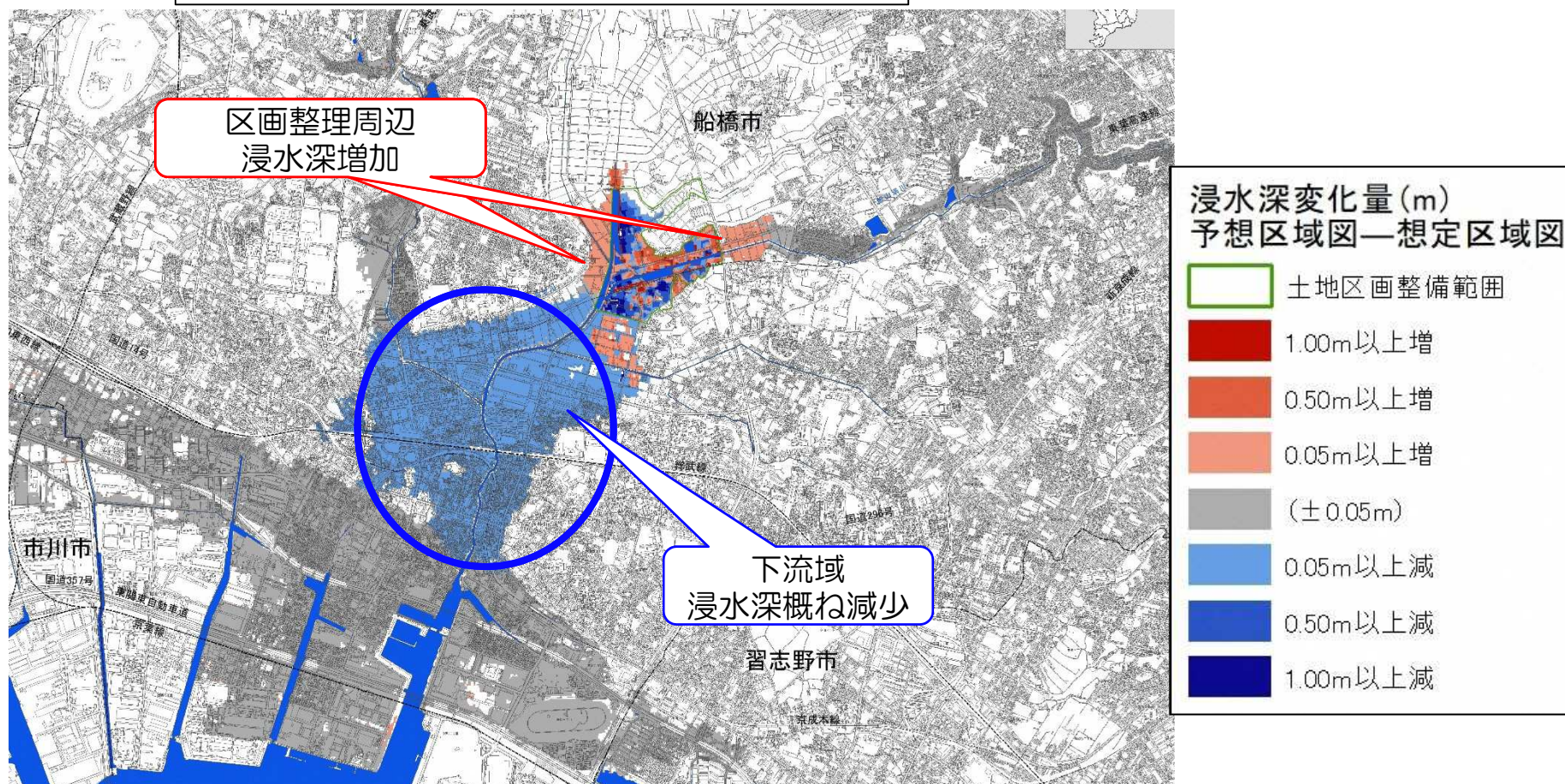
- 3.0 ~ 5.0m未満の区域
- 0.5 ~ 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

今回実施

解析結果

～想定最大規模の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量

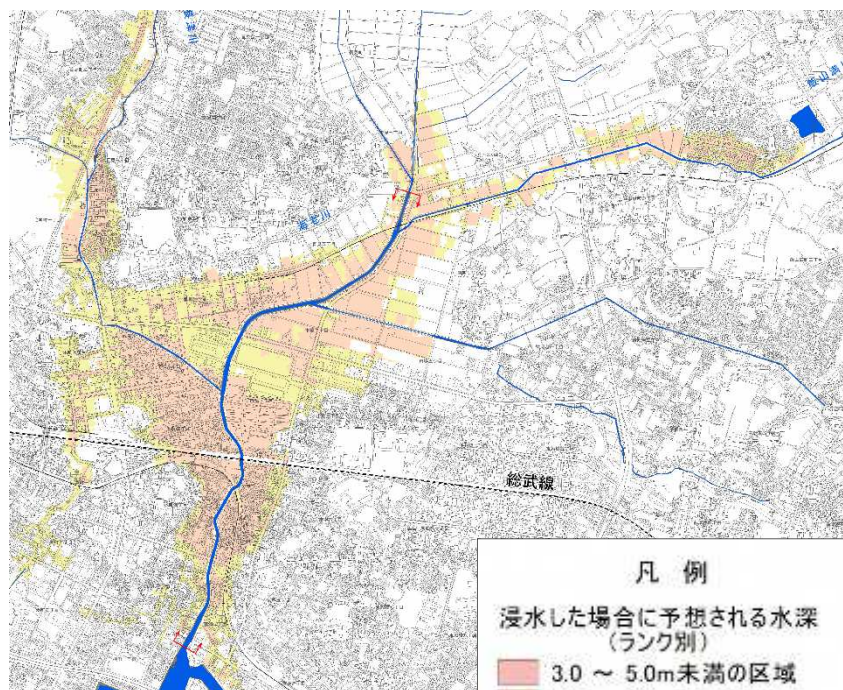


②土地区画整理事業後の浸水予想区域図—①土地区画整理事業前の浸水想定区域図

解析結果

～計画規模の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



作成主体 千葉県
指定年月日 令和元年12月23日より引用

凡例
浸水した場合に予想される水深
(ランク別)
3.0 ~ 5.0m未満の区域
0.5 ~ 3.0m未満の区域
0.5m未満の区域

②土地区画整理事業後の浸水予想区域図



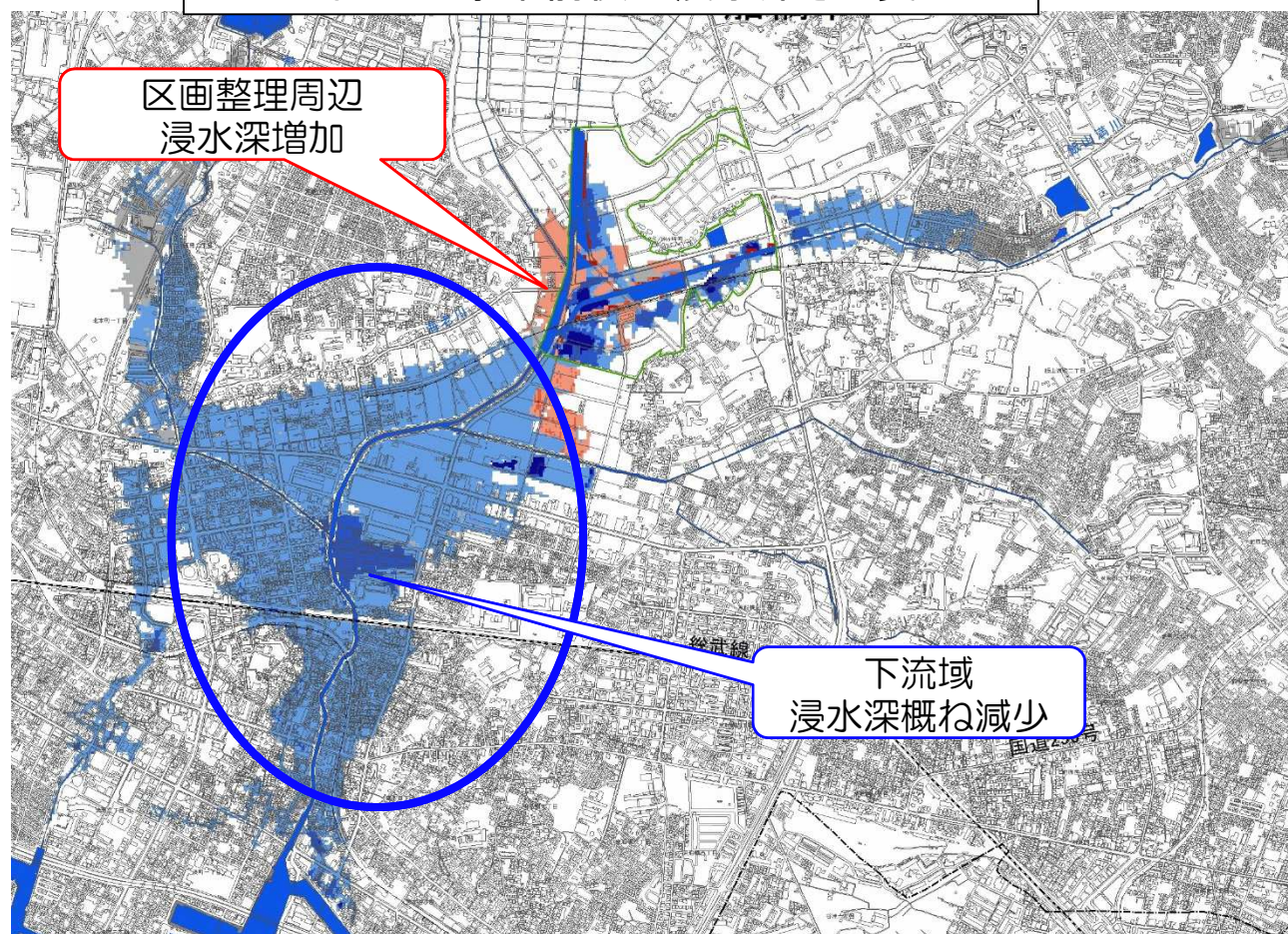
今回実施

凡例
浸水した場合に予想される水深
(ランク別)
3.0 ~ 5.0m未満の区域
0.5 ~ 3.0m未満の区域
0.5m未満の区域

解析結果

～計画規模の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量



浸水深変化量 (m)
予想区域図—想定区域図



②土地区画整理事業後の浸水予想区域図—①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



解析結果

- 高頻度の降雨における土地区画整理事業による治水への影響は、浸水シミュレーションでは、概ね浸水深が減少
- 想定最大規模や計画規模の降雨における土地区画整理事業による治水への影響は浸水シミュレーションでは、下流域では浸水深が概ね減少
- 土地区画整理事業の周辺では浸水深が増加しているエリアがあることから、土地区画整理組合と協議を継続

千葉県都市計画審議会で付された意見への対応

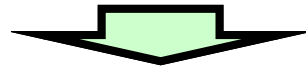
- 市としては、「令和4年1月に開催された千葉県都市計画審議会で付された意見」に基づき、
<海老川流域の治水への影響に関する検討を続け>
➡令和4年2月からシミュレーションを実施
<住民に対し御理解いただけるよう丁寧に説明を重ね>
➡令和4年5月と8月に各6回、住民説明会を実施
組合による工事説明会を9月に2回実施
- 今後も丁寧に説明を重ねていく

土地区画整理事業の工事着手

- 組合は既に設立されており、法的にはいつでも工事着手が可能な状況の中で、市は組合に対しシミュレーション結果の説明会を開催するまで工事着手を待ってもらうよう依頼



- シミュレーション結果の説明会開催（令和4年8月）
- 下流域では浸水する深さが概ね減少



- 工事着手については、組合の意見を尊重



土地区画整理事業の工事状況

- 工事は令和4年8月末から着手しており、9月下旬に組合主催の工事説明会（第1回）を開催
- 工事着手から半年が経過した現在、区域北側の造成を実施
- 区域を6区域に分け各区域ごとに調整池を整備
- 基本、調整池完成後に造成を行うが調整池の築造前に造成を行う場合は、仮設の調整池を整備